

龍ヶ崎の認知症家族会

平成27年 3月 2日発行
発行 龍ヶ崎市回想法センター
龍ヶ崎市平台 5-9-7
電話・FAX 0297-65-4443
e-meil pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp
h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

梅が咲き出しました

徘徊何とかしないと

『2月22日龍ヶ崎市市民活動フェアにて』



茨城県は、なんと徘徊全国第4位だそうです。認知症家族会「あおぞら」でも「徘徊をどうしたら早期に発見できるか？」協議を続けてきましたが、なかなか名案が浮かんできません。昨年10月に開催された「千葉県福祉機器展」で「IDinsole」に出会いました。身内の徘徊で苦労された認知症家族会の方も「これは良い」と、家族会で「IDinsole」を広めてゆこうと、龍ヶ崎市市民活動フェアに参加しPR活動をしました。多くの方が足を止めて、私たちの話に耳を傾けてくれました。高齢者の施設の方、障害児の施設の方々にも是非使いたいと好評でした。尚、「IDinsole」の問い合わせは龍ヶ崎市回想法センターまで

支えあい住みよい町に

65歳以上の15%は認知症、推計で462万人が認知症と。認知症は、誰もがなる可能性があり、誰もが無縁ではないのです。認知症を支えるボランティアを増やし地域で支えようとする動きが広がってきています。

龍ヶ崎市では、昨年「龍ヶ崎にはどんな障害者がいて、その障害はどんな障害で、どんなサポートが必要なのか」障害を理解する市民講座が始まりました。今年は失語症です。また、年に1回では少ないと、市民から回数をふやしてとの声も出てきています。

認知症がどんな障害なのか、どう認知症と向き合ったら良いのか分からなくて認知症をひどくしてしまったり、徘徊で苦労した家族がたくさんいます。そんな家族の悩みを少しでも軽減できたらと昨年「認知症家族会あおぞら」をスタートさせました。

100人いれば100通りの認知症がいるように、認知症の介護には、認知症を介護した介護者の生の声が、介護で悩む家族には大きな力になります。認知症を知っていただき、対処の仕方を学べる市民講座を是非開いてもらいたと思っています。認知症とその家族、支える地域の人のためにも！！

3月の予定

歴史民族資料館での活動は随時とさせていただきます
おしゃべりサロンは会場の都合によりお休みします

問い合わせ先 龍ヶ崎市回想法センター 0297-65-4443 担当 赤嶺